

宮城県林業普及活動情報

2009.6月号 No.13

もくじ

各地の林業普及活動情報

P 2～7

- 「原木椎茸ブランド強化運動の展開」 (大河原地方振興事務所)
- 「ムラサキシメジ栽培講習会②」 (大河原地方振興事務所)
- 「ムラサキシメジ栽培講習会」 (北部地方振興事務所)
- 「学校施設における内装木質化」 (北部地方振興事務所)
- 「田谷地沼で野鳥観察」 (北部地方振興事務所)
- 「里山の初夏を満喫！」 (北部地方振興事務所)
- 「おおさきの森林づくり検討会」 (北部地方振興事務所)
- 「森林づくり体験会を開催しました」 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)
- 「ムラサキシメジの収量増を目指して」 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)
- 「ムラサキシメジ栽培講習会」 (東部地方振興事務所登米地域事務所)
- 「新規事業導入で間伐推進を支援」 (東部地方振興事務所登米地域事務所)
- 「間伐補助事業への理解を深める」 (気仙沼地方振興事務所)
- 「ムラサキシメジ栽培講習会の開催」 (気仙沼地方振興事務所)
- 「森林のあり方検討、地域材利用推進プロジェクト会議の開催」 (気仙沼地方振興事務所)
- 「グリーンマイスター育成研修前期研修閉講」 (林業技術総合センター)

「原木椎茸ブランド強化運動の展開」

大河原地方振興事務所

6月16日、川崎町の緊急雇用事業により、原木栽培に絞った雇用業務を川崎町森林組合に委託し、将来的に町の新しい特産品目の創出を図る構想が浮上したため、「原木椎茸栽培起業連絡会議」の開催を支援しました。

川崎町森組経営戦略の一環として、原木椎茸栽培を対象にした生産・販促活動等の調整の場を新たに設定したことで、関係団体の意志疎通と計画達成に向けた取り組みが強化されることとなりました。



川崎町「原木椎茸栽培起業連絡会議」状況

「ムラサキシメジ栽培講習会②」

大河原地方振興事務所

5月29日に、七ヶ宿町で管内奥山地域の栽培予定者を対象にした「ムラサキシメジ栽培講習会」を開催したところですが(5月号記事をご覧ください。)、今回は、6月2日に管内里山地域の白石市においてムラサキシメジ野外栽培(落ち葉マウンド法)マニュアル(H20版)に基づき、栽培予定者を対象に栽培管理の方法と栽培適地の現場条件等について解説する栽培講習会を開催しました。

このことにより、発生の特性や収穫量の増大を目指す方法について参加者の理解を得ることができました。



栽培講習会の状況

「ムラサキシメジ栽培講習会」

北部地方振興事務所

6月2日、加美町鹿原上台野地内の町営わらび園で、「ムラサキシメジ栽培技術研修会」を開催しました。当日は、管内各地から10名の栽培者の皆さんの参加がありました。

研修内容は、ムラサキシメジ栽培技術マニュアルに基づいて栽培管理方法や栽培適地の条件などの説明と、落ち葉マウンド設置の実演です。

その後、参加者の皆さんにも落ち葉マウンドを実際に設置してもらいました。参加者の皆さんはほとんどが経験者であったため、手慣れた感じであつという間に落ち葉マウンドが完成しました。その後、昨年の収穫状況や栽培に関する疑問点などを意見交換し、閉会としました。

なお、秋には、ムラサキシメジの一層の



最初普及指導員が実演を行いました



手慣れた感じで落ち葉マウンドを作る参加者の皆さん

PRを図るため、当該マウンドから発生したムラサキシメジを使用して、試食会を開催する予定にしています。

「学校施設における内装木質化」

北部地方振興事務所

6月19日、管内の公共施設における木材の利用を促進するため、教育現場で施工された内装木質化の状況について確認するとともに、県産材を主要材料とした背景等について意見交換を行いました。

昨年度完成した古川学園中等部の校舎は、設計段階で各種の規制から鉄筋コンクリートで進めていたものの、検討段階から「教育現場に木のぬくもり」、「地産地消の良さ」に関わりたいという学校側の意向と設計者の考えが一致。腰板、天井、下駄箱等に大崎、栗駒などの県産スギ材が使用されています。

その結果、生徒をはじめ利用する関係者から木のぬくもりとともに優しさ、安心感があるなどの評判を受けており、学園側からは、今年度建築中の武道用建物についても内装の木質化を進めているとの話を伺っています。

なお、公立校に比べ補助事業等の一般行政情報が入りづらいことからいずれの施設もほとんど学園資金で建設。補助があればもっと地域材に使用にこだわることができたはずとの意見があり、関連情報を幅広く提供することとしています。



◇内装木質化の状況

腰板、引き戸などスギ材で施工。



天井のスギ材使用状況



スギ材の下駄箱

「田谷地沼で野鳥観察」

北部地方振興事務所

6月1日(月)、加美町の田谷地沼において賀美石小学校5、6年生の生徒が沼地や森林に住む野鳥の観察を行いました。

今回は6月5日に全校生徒で行われる野鳥観察会において講師役となる5、6年生が事前調査を兼ね、野鳥の観察法や種類の識別法などを学習しました。葉が茂ってしまったこと、風があったことなどから観察できた野鳥は多くはなかったが、一般的なウグイス、ヒヨドリ、カラ類や湿地特有のオオヨシキリ、カイツブリなどが観察され下級生を指導するに当たって参考になったと思われる。



水辺の鳥：カイツブリの観察

「里山の初夏を満喫！」

北部地方振興事務所

6月2日(火)南郷小学校1年生, 8日(月)中塚小学校2年生の児童が涌谷町にある小牛田農林高等学校の学校林において初夏の里山の様子や生育する植物や生息する動物, 昆虫などの観察を行いました。

児童たちは, 植物の種類が多さに感心するとともにそれらを使った遊びや暮らしの中での活用の仕方などを学びました。

また, 森の中に住む昆虫などの巧みな生態に触れ, 生物の多様性に感心していました。

こうして自然の不思議と多様性に触れたここでの体験は原風景の形成に役立つばかりでなく, 子供達にとって自ら疑問を見つけ出し, 自ら答えを探そうとする契機になったものと思われまます。



木の葉の特徴を説明



沢の生き物調査

「おおさきの森林づくり検討会」

北部地方振興事務所

6月26日(金)大崎森林組合会議室において, 今年度2回目の「おおさきの森林づくり検討会」を事務所林業振興部, 森林組合及び市町の関係職員とで実施しました。

今回の主な内容は, ①森林所有者アンケート調査結果及び今後の対応について②補助制度を活かした事業の展開について③間伐推進についてであり, 地域の森林整備を如何に進めていくかが課題となっています。当検討会は, 課題解決に向けての意見交換の場で, 今後継続的に2, 3ヶ月に一度の割合で開催する予定としています。



検討会風景

森林づくり体験会を開催しました

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

6月6日（土）

多くの県民の方々に、森林づくりに参加する機会を提供し、森林や林業への理解を深めてもらうため、栗原市花山の森林科学館で「森林づくり体験会」を開催しました。

当日は、前日から雨が降り続き、大雨警報が発表される生憎の天気となったため、市有林で予定していた植林作業は中止し、シイタケの植菌作業を体験していただきました。

栗原市のほか、仙台市や大崎市などから38名の参加がありましたが、植菌は初めてという方が多く、真剣に作業を行っていました。

自分で植菌したホダ木は持ち帰ることができ、職員にホダ木の管理方法を熱心に質問しながら「きのこの収穫が楽しみです」と、大変好評でした。

栗原地域事務所では、10月にも「森林づくり体験会」を開催する予定で、今度は、是非、植林作業も体験してもらおうと計画を練っています。



協力して植菌作業を行う参加者



林業普及指導員が「杉のはなし」を紹介

ムラサキシメジの収量増を目指して

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

6月19日（金）

山村地域の新たな特産品化を目指して栽培普及に取り組んでいるムラサキシメジですが、2年目は、それほど収穫が期待できない等の課題もあります。

そこで、2年目の収量増加を図るため、菌の栄養源である落ち葉を、試験的にマウンド（菌床を埋め込むために、山盛りにした落ち葉）の外周に補充してみることにしました。

現地調査の結果、昨年設置したマウンドでは、昨秋の収穫後も菌糸が順調に伸長している様子が確認できました。

ムラサキシメジの菌糸は、菌床から外側に向かって輪状に伸長するため、昨年設置したマウンドのさらに外側に、たっぷりと落ち葉の補充を行いました。

期待どおりに2年目の収量増加となるかは、秋頃に報告したいと思います。



落ち葉を補充したマウンド

「ムラサキシメジ栽培講習会」

東部地方振興事務所登米地域事務所

6月3日(水), 登米市津山町において, 第1回目の講習会を開催し, 管内のムラサキシメジ生産者を対象に, 伏せ込み方法及び管理方法等について説明を行いました。

林業技術総合センターの協力で, 昨年度まで県が実施した実証試験の結果を情報提供しながら, 参加者との意見交換を行いました。

今回は, 継続生産者の参加が多かったため, 同一場所での栽培の留意点, 2年目マウンドの扱い方, 天然物との違いなど, 栽培管理を通して感じた様々な情報をいただきました。

今後, きのが発生する晩秋まで, 各生産者を巡回し, 栽培管理を指導する予定です。



栽培マニュアルによる講習風景 (栗林内)

「新規事業導入で間伐推進を支援」

東部地方振興事務所登米地域事務所

経済危機対策である「緑の産業再生プロジェクト」の概要を関係者へお知らせするため, 6月17日(水)に津山木材センターにおいて, 打合せ会議を開催しました。

特に, 間伐事業については, 採択要件の緩和等により実施可能な対象林分が広がったことから, 新たな事業地の積極的な掘り起こしによる森林整備の促進をお願いしました。

事業種が多岐に亘り, 当日の説明だけでは理解が不十分な面もあったため, 質問事項への回答も含め, 今後も引き続き, 個別的に調整を図って行くことになりました。



意欲的な意見・質問が出た会議の様子

「間伐補助事業への理解を深める」

気仙沼地方振興事務所農林振興部

6月4日(木), 6月24日(水)

南三陸町の林業事業体を対象に, 間伐補助事業について概要を説明し, 今後活用できるとされる補助事業について理解を深めていただくことができました。

今後は, 南三陸町と南三陸森林組合との打ち合わせを経て, 間伐を行う予定箇所について, 町策定の特定間伐促進計画へ組み入れる事となりました。



打合の様子

「ムラサキシメジ栽培講習会の開催」

気仙沼地方振興事務所農林振興部

6月4日(木)

新規栽培者を対象としたムラサキシメジ栽培講習会を開催しました。

当日は、栽培者のほか、地元住民、町職員、森林組合職員等9名が実際に菌床の埋込みを体験し、「作業の流れや栽培方法を学ぶことができた」、「秋には収穫祭を行ってはどうか」など活発な意見が出されました。



県職員が指導しながら菌床埋込み実習

「森林のあり方検討，地域材利用推進プロジェクト会議の開催」

気仙沼地方振興事務所農林振興部

6月24日(水)

地域林業の振興を図るため、管内市町・森組職員、普及指導員をメンバーとした2つのプロジェクト会議を昨年引き続き設置しました。

「森林のあり方検討プロジェクト」では、間伐補助制度の勉強会と活用を、「地域材利用推進プロジェクト」では、地域材利用の普及啓発と公共施設での地域材の利用推進を柱として活動することとしています。



第1回プロジェクト会議開催

「グリーンマイスター育成研修前期研修閉講」

林業技術総合センター普及指導チーム

5月25日(月)に開催した平成21年度基幹林業技能作業士(グリーンマイスター)育成研修の前期研修が6月26日に閉講しました。前期の研修は、車両系建設機械(整地等)運転技能講習等五つの技能講習と森林調査方法・測量技術等森林・林業に関する基本的な内容について研修を行いました。

6名の研修生は、雨天や大きな気温変化の中、真剣に研修に取り組み、無事、五つの技能講習修了証を取得し、前期研修を修了しました。



車両系建設機械運転技能講習の実施状況

林業の技術や情報についてのお問合せ先

各地に林業普及指導員がおりますので、お気軽にお問合せください。

<u>大河原</u> 地域	大河原地方振興事務所	林業振興部林業振興班 TEL 0224-53-3249
<u>仙台</u> 地域	仙台地方振興事務所	林業振興部林業振興班 TEL 022-275-9252
<u>大崎</u> 地域	北部地方振興事務所	林業振興部林業振興班 TEL 0229-91-0719
<u>栗原</u> 地域	北部地方振興事務所栗原地域事務所	林業振興部林業振興班 TEL 0228-22-2381
<u>石巻</u> 地域	東部地方振興事務所	林業振興部林業振興班 TEL 0225-95-1436
<u>登米</u> 地域	東部地方振興事務所登米地域事務所	林業振興部林業振興班 TEL 0220-22-6125
<u>気仙沼</u> 地域	気仙沼地方振興事務所	農林振興部林業振興班 TEL 0226-24-2535
<u>全</u> 域	林業技術総合センター普及指導チーム	TEL 022-345-2816